

経営比較分析表（令和2年度決算）

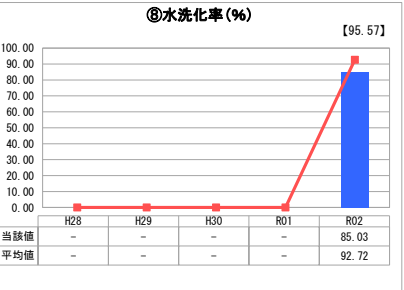
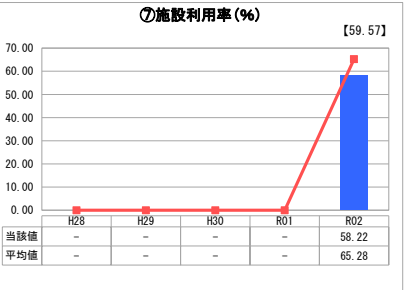
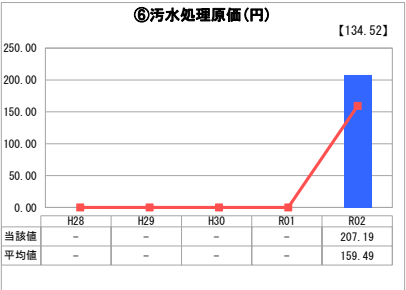
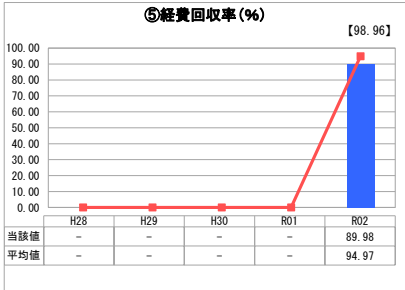
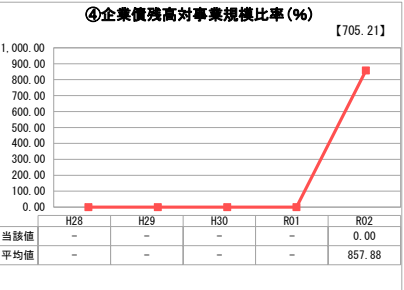
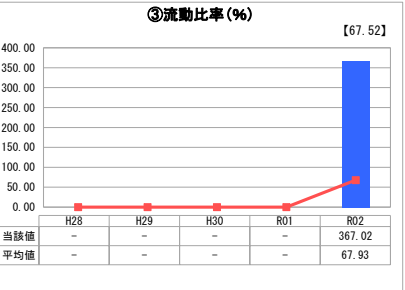
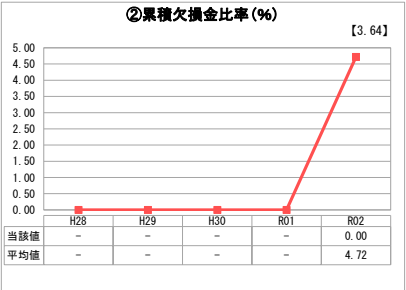
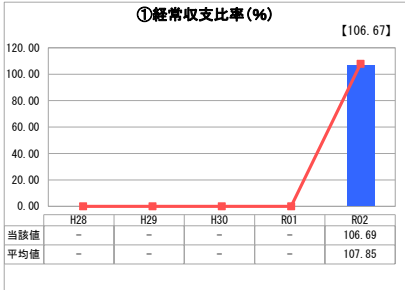
宮城県 石巻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	81.68	69.49	87.20	3,575

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
140,824	554.55	253.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
97,338	25.23	3,858.03

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

東日本大震災による災害復旧事業及び復興事業を優先しているため、一部を除き通常の下水道工事を先送りとなっているのが現状である。
経常収支比率については、一般会計からの繰入金に依存しているため、更なる収益の確保と維持管理経費の削減に努める必要がある。
流動比率については、類似団体の平均を大きく上回っているが、現状の流動資産のほとんどが翌年度繰越財源の一般会計繰入金となっている。
経費回収率及び汚水処理原価については、不明水による汚水処理費の増加が考えられることから、今後も継続的な対策を講じていきたい。
水洗化率については、震災関連の新市街地等の建設事業に伴い、利用者が増加したが、今後は適切な汚水処理及び使用料収入の増加を図るために未接続者に対する働きかけを実施し、水洗化率向上を図っていきたい。

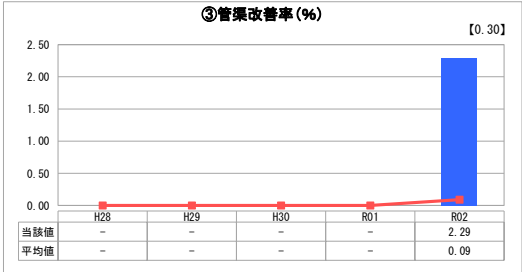
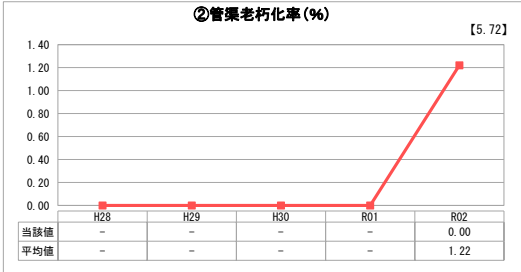
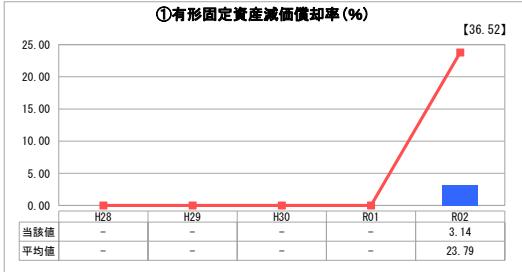
2. 老朽化の状況について

供用開始から約40年経過すると同時に、東日本大震災による被害もあり、その対応が最重要課題となっている。通常の建設改良については、一部先送りとなっているものの、復旧・復興事業の進行により、老朽化への対策は改善されつつある。
今後は、速やかな復旧・復興事業の進行とストックマネジメントの手法を活用した調査・修繕・更新の長寿命化事業への取り組みを進めていきたい。

全体総括

今後、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加や人口減少による料金収入の増加が難しいことにより、経営環境が厳しさを増していくことから、今後見直しを予定している経営戦略に基づく徹底した経営健全化やストックマネジメントにより計画的に施設の長寿命化を図っていかねばならない。
また、公営企業会計の導入により、経理内容の明確化が図られることから、汚水処理原価に係る使用料の適正な水準を見定め、経営の安定化に努めるほか、復旧・復興（雨水事業）により増大した施設を含め、効率的な施設の維持管理を進める必要があると考えられる。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。